

令和7年度日高振興局農業農村整備事業環境情報協議会 議事録

日時：令和7年12月10日（水）9:50～15:30

場所：協議会① 新ひだか地区現地及び
新ひだか町役場三石庁舎
協議会② 浦河東部地区現地及び
日高振興局

1 現地視察①：道営中山間地域農業農村総合整備事業 新ひだか地区

(1) 事業概要説明

2 協議会①：道営中山間地域農業農村総合整備事業 新ひだか地区

- (1) 挨拶
- (2) 委員紹介
- (3) 議事

3 現地視察②：道営中山間地域農業農村総合整備事業 浦河東部地区

(1) 事業概要説明

4 協議会②：道営中山間地域農業農村総合整備事業 浦河東部地区

(1) 議事

<各議事録>

1 現地視察①

・意見交換

(農道現地にて)

D委員：農道のメンテナンスは町が行っているのか。どのような内容か。

役場：除雪などを実施。また見た目は舗装道に見えるが、表面のみの簡易舗装（防塵処理）のみであり、凍上等による損傷が著しいため、農業用機械や輸送車輛の走行に支障を来している状況です。

C委員：このような道路は他にもたくさんあるのか。

役場：ここまで傷んでいる道路は少ないです。町の負担もあるため、優先度を検討した上で当該事業にて整備要望したところです。

2 協議会①

・意見交換

振興局：新ひだか地区の説明や概況を踏まえ、意見・質問等があればお願いしたい。

C委員：客土について土取場の場所はどこか(資料 P6)。また、どの程度の量の土を採取するのか。

振興局：位置図 (P8) にて場所について説明。客土想定量を説明。

C委員：整備エリアはもっと広い範囲と思っていた。整備箇所が変動する可能性は。

振興局：工期も長いため、整備箇所が変更する可能性はある。

役場：(補足) これまで3回の聞き取りを行っている。振興局、役場、受益者で現地での聞き取りも行って要望量を取りまとめているところ。

A委員：現地にて河川が隣接していたが、河川名はアイヌ語からの由来が多い。

農家さんの要望による整備ではあるが、昔からある河川であるということからも環境を守りながら進めていただきたい。

埋蔵文化財については、影響のある区域ではないと思われるが、工事の際は歴史的なものには配慮しながら進めていただきたい。

B委員：現地までの移動の際、車中から海岸部にオオワシ(2羽)、オジロワシ(4羽)が確認された。オオワシ・オジロワシについては静内川沿いの真歌山を寝ぐらにしており、当該エリアでは特に影響はないと思われる。

近年、当管内においてもタンチョウ鶴が増えてきており、西部方面でも確認されていることから、工事の際に確認された場合は一時中断するなど留意願いたい。

D委員：昨年の本協議会は11月開催であったが、本年度この時期となった理由は。

振興局：今回協議対象の2地区について事業量が大きく、要望内容の取りまとめ整理に時間を要したため遅くなった。

振興局：浦河東部地区にてその他意見・質問等はあるか。なければ委員の皆様からの意見を踏まえ環境配慮に取り組み、計画通り実施することよろしいか。

一同：異議なし。

3 現地視察②

・意見交換

(4号防災工現地にて)

D委員：装工されるのか。

振興局：洗掘が著しいため、装工を計画している。

D委員：L字型の路線で勾配もあり、水の流れが速くなるのでは。

振興局：曲点箇所には柵等の設置などによる対応が考えられる。

(区画整理要望ほ場の現地にて)

- ・特になし

4 協議会②

- ・意見交換

B 委員：現地（4号防災工）を見た限り、農地へ水が溢れるようには見受けられなかったが、やはり影響を及ぼすのか。

改良区：大雨時に水が溢れて、農地被害がある。

C 委員：牧柵があったが、用地は誰のものかまた、地目は何か。

振興局：現況地目は畑地目で、現状は農家の所有地です。整備のために必要な敷地を買収し工事後は町有地となる。

C 委員：水路の床はどの程度掘り下がるのか。

振興局：詳細測量（設計）は行っていないが、下流の高さが決まっているため、大きくは掘り下がらない。

D 委員：同じような水路はまだまだあるのか。また、どの排水路から整備するか決めているのか。

振興局：要望される水路はまだまだあるが、要望と事業要件が合致した水路であり町の優先順位が高い路線について今回計画しています。

B 委員：野鳥について、水路を流れる水は鳥の水飲み場、水浴び場となっているため留意願いたい。

D 委員：P6 に記載の全体延長と路線毎延長の合計が合わない。

振興局：どちらかが誤っている可能性がある。本協議会の内容は今後公表予定であるため、その際は正しい数量の資料とする。

B 委員：ニホンザリガニやホタルは確認されていないか。

振興局：現地調査の結果では確認出来ていない。

C 委員：このあたりではタンチョウはいるのか。

B 委員：様似エリア（海辺(うんべ)川）では確認されている。野鳥なため絶対とはいえないが、影響しないエリアと思われる。

C 委員：近年の集中豪雨に合わせたら大きな断面の水路になるのか。

振興局：基本的には10年に1度の確率の大雨により計算された水路断面となる。洗掘や法崩れを防止するため、トラフ装工を計画している。

振興局：他に浦河東部地区について意見・質問等はあるか。なければ委員の皆様からの意見を踏まえ環境配慮に取り組み、計画通り実施することによろしいか。

一同：異議なし。

5 閉会